

LOOKING FOR "THAT"

RYUKOKU CINEMA



RYUKOKU
UNIVERSITY

#みんなで考える生理

生理はなぜタブー視されるか 映画「LOOKING FOR "THAT"」上映会と 監督による講演会を開催

日常でよく聞く「アレ(=生理)」という言葉。「生理」ではなく、「アレ」と呼ぶのに理由はあるでしょうか。職場の上司や同僚だけでなく、家族や友人にも「生理(月経)」のことを「アレ」と呼び、「語りづらい」「触れてはいけない」という意識が根深くあることがうかがえます。そんなタブー視をされた「アレ(=生理)」に男性映画監督が迫ります。このドキュメンタリー映画では、生理期間も忙しく働く女性や、アスリート、セックスワーカーなど多種多様な職業の幅広い年齢層にインタビューをし、「生理」をめぐる様々な意見が盛り込まれています。本映画の上映と監督の講演会を通して、「アレ(=生理)」と言わなくても良い社会になる一助となれば幸いです。※本上映会は、社会課題解決を目指す教職員の部署横断型ワーキンググループが企画しています。

講師：映画監督 朴 基浩 (ぱく きほ) 氏

在日朝鮮・韓国3世。立命館アジア太平洋大学(APU)卒業後、NPO法人D×P(現：認定NPO法人D×P)を設立。2015年、同団体の共同代表を退任後、映像制作活動を始める。監督・脚本を務めたCMが宣伝会議主催「第1回ものがたりアワード」にてグランプリを受賞、女性の生理についてのドキュメンタリー映画「LOOKING FOR THAT-アレを探して-」が国内映画祭入賞、その他メディア各種に取り上げられる。映像制作の傍ら、BBCやAl Jazeeraなどの海外メディアのコーディネーターなども務める。現在は、男性の包茎についてのドキュメンタリー映画を制作中。尊敬する人は、大杉栄とアンリ・ベルグソン。



日 時：2023年5月25日 (木) 17:30 ~ 19:00

会 場：深草キャンパスー成就館 4階 Main Theater
瀬田キャンパスー 8号館 103教室

申込方法：参加をご希望の方は、右記のQRコードより
上映会前日までにお申し込みください。当日参加も可。

※講演会はオンライン

